

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツコミュニケーションスクールカラフル・金沢もりの里（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年2月18日		2025年2月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2025年2月18日		2025年2月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムについて	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの興味関心。発達段階に応じたプログラムをチームで立案しています。 ・月に1度、プログラムミーティングを実施し、プログラム内容の検討改善について検討している。 ・トークン制度を取り入れ、お子さまが楽しく取り組めるプログラムを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで目標を設定し、できたを積み重ねることで、達成感を味わい、自信をつけられるよう支援します。 ・ご家庭での様子や課題、要望などを共有したり、プログラムの目的や目標についてご家族と共有連携して支援を行います。
2	・子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画に沿った支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さま一人ひとりの興味関心、得意なこと、苦手なこと、課題などを丁寧に把握し、個別支援計画に反映させます。 ・個別支援計画に基づき、お子さま一人ひとりの目標を設定し、目標達成に向けた活動プログラムを作成しています。 ・集団活動での課題克服のための練習やサポートを個別に対応します。個別に課題克服のための練習や指導を行い、再度集団活動に参加し、課題を実践します。活動後、課題の改善状況を評価し、フィードバックを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に適した、安全で快適な環境を整備します。 ・職員の支援の向上を目指し、勉強会や研修会を実施します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流機会、地域に開かれた事業所運営が不足していることについて	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年5月に現事業所に移転してきたこともあり、地域との交流・連携はこれからの課題であると考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや活動に積極的に参加するだけでなく、利用者自身が企画・運営するイベントを開催するなど、多様な交流機会を創出します。 ・高齢者施設との交流会や、清掃活動への参加などを行います。
2	・保護者同士の交流機会や家族支援プログラムのや家族等の参加できる研修の機会が不足していることについて	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が参加交流ができるイベントの企画ができていない。人員配置等を整えて実現できるようにしていきます。 ・職員の専門性向上を図るための研修を実施します。 ・専門職を配置します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観会や、保護者交流会、親子イベントなど、保護者が参加できるイベントの開催を企画します。 また、ペアレントトレーニングや保護者向け研修会などの開催も企画し、保護者のニーズに応じた開催方法を検討しています。
3	・関係機関や保護者との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有ツールの活用など、情報共有の仕組みを構築していきます。 ・関係機関や保護者との定期的な意見交換や情報交換会などを実施し、相互理解を深めます。 ・相談支援専門員さんを通して、学校や他機関との連携を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との定期的な会議や連絡会に参加します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スポーツコミュニケーションスクールカラフル・金沢もりの里校
------	-------------------------------

公表日 令和7年3月3日

児童発達支援

利用児童数

10名

回収数

4名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	0	0	1	・もりの里に移転してから見学していないので、分かりません。	・2024年5月に事業所を移転いたしましたが、移転後、保護者の皆様に新事業所内をご覧いただく機会を設けることができておりませんでした。今後はお迎え時にご希望される保護者様へ事業所内をご案内いたします。また、保護者様向け事業所見学機会（参観会形式）の実施を検討し、事業所内の設備や活動内容をご覧いただくとともに職員との意見交換の場も設ける予定です。開かれた事業所を目指します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	0	0	1	3	・もりの里に移転してから見学していないので、分かりません。 ・送迎サービスができるよう増員してほしい。	・送迎サービスのご要望につきましては、保護者様よりご希望があることを受け止め、職員の配置数も含め検討いたします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	3	・もりの里に移転してから見学していないので、分かりません。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	2	・もりの里に移転してから見学していないので、分かりません。	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1	0	1	2		
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	1	1	2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	1	1	2		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	2	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1	0	1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		
そ の 他	30	その他、ご意見・改善点等ありましたら、ご記入をお願いいたします。					<p>・スイミングプログラムなのですが、水に顔をつける、水中で眼をあけるなど、小さな目標を一覧表にさせていただいて、利用者自身が今できる事を確認して自信を持ったり、次の目標にチャレンジできるようになったら嬉しいです。</p> <p>・送迎サービスがまたできるよう対応をお願いします。私自身あまり運転が得意でないこともありまして、大雪の際や悪天候の時などは送迎に不安があり、キャンセルし別事業所を利用させていただくことになるかと思えます。</p>	<p>・スイミングプログラムや運動プログラムにおいて、評価表を作成し、それに基づいた計画を策定する予定です。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スポーツコミュニケーションスクールカラフル・金沢もりの里校
------	-------------------------------

公表日 2025年3月3日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・プログラム中にお子さん同士の接触が起きないよう活動スペースを分けるように配慮している。 ・活動場所を分けている。	・今後も随時環境整備の見直しを図っていく ・広い方だと思う ・利用人数を減らし、支援を充実させる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	・支援時に全体を把握するようにしている。 ・同時に3プログラムを実施する時があるが職員を2人づつ配置することができる。	・職員の休みの取りにくさがある ・利用人数を減らし、支援を充実させる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4	・常に掃除・整理整頓・断捨離を心がけている。 ・視覚支援を取り入れ、目で見てもわかりやすい掲示をしている。	・鉄筋部分があるので緩衝材で保護していく ・建物の構造上音が反響する。 ・階段の安全対策。 ・防音対策
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・活動場所を分けている。	・建物の構造上、夏は熱くなりやすく、冬は寒いので、対策が必要。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・仕切り等を使い、気持ちを落ち着ける場所を設けている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	・日報を活用しPDCAを実行している。	・スタッフ間で共有する時間を作る。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・スタッフMTGで共有している。	・今後いただいたご意見をもとにスタッフで改善案を話し合い、実行していく。 ・保護者様へ申し送りを積極的に実施し話をする機会を持つ。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・ミーティングで活発な意見交換をし業務改善につなげている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5		・発達障害支援アドバイザー派遣等を活用する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・定期的に全体研修を実施している。 ・研修部が年間研修計画を作成し、それに沿った研修を実施している。	・必要な研修の実施 ・伝達研修の実施
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2	・職員間で話し合い、支援プログラムの公表を行っている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・職員間で共有している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・児童発達支援計画書を職員間で共有している	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	・日々のミーティング、支援会議で計画を確認している。	・共有はされているが、実際の支援時に反映されていない時もある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		・標準化され対応の共有がされにくい点 ・確認していく
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		

は 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・お子さまの興味関心、発達段階に合わせたプログラムをチームで立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・月に1度プログラムミーティングを実施し活動プログラムについて検討している。 ・子どもが飽きないように月ごとにプログラムを変更するが、活動定着のねらいもあるため、固定プログラムと併用している。	・発達段階や特性に合わせて、同じプログラムを固定している時もある。 ・その日のプログラム目標を明確にしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・お子さまの発達段階や発達特性に合わせたプログラムを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・毎日のミーティングで支援にあたる児童の役割分担を決め、具体的に何をどう支援するのかを話し合いで決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		・その日に振り返りは行っていないが、翌日必ずミーティングを行い振り返りと、気づいた点の共有をしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5		・連携は取れていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	4		・実施している児童と実施できていない児童がいる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	6		・今年度は就学時の移行児童が多いので共有していきたい。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	2		・事業所内に掲示し、保護者様に説明を明確にしていく。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・SNSやHPを更新し日々の活動内容を公開したり、定期的にニュースレター発行したり、公式ラインを通じて保護者様に情報の発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	4		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・児童のネームプレート表示と一緒にアレルギーを明記し見える化している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		